

## 三峰 聖岩(光岩)ボルダー

2017.8.29 rctK

大分前のことになるが、三峰ボルダーを訪れた際、国道から見える聖岩(光岩)が気に入り対岸の林道を詰めて見に行った。聖岩自体は大きいですが脆くてクライミングの対象にならなかったが、下の林道脇には沢山のボルダーが転がっていた。大きなエリアになりそうではあったが、その後は、苔と藓のイメージが強く、行く機会を失っていた。

暫くして、何処か開拓できそうなまとまったボルダーエリアがないのかと記憶を辿ったところ、このボルダー群を思い出した。数年前から時間の取れた時に掃除とトライに数回出かけたものの、植林帯や雑木林の中で乾きが良くないために苔だらけで、浮石落としにも大分難儀した。割合で言えば、10日間中で、掃除と整備が9日でトライは1日という感じで、なかなかエリアとしてまとまったものにならなかった。また、一時期、林道が土石流で埋められてしまったため、アプローチがちょっと面倒になってしまったのも理由の一つである。

今夏は天候不順で各地の岩場の状態が悪く、最近はまだ登れないでいたので、久しぶりにこのエリアを訪れてみた。一部日当たりが良いので、少し晴れ間が出ると登れるボルダーもあり、数回行くうちに天候も安定してきて岩の状態も良くなり、予想に反して楽しくボルダリングをすることができた。存在するボルダーの中でアプローチの良いものしかトライはしていないが、ここで一応一区切りついたと思える状況になったので、お勧めという程のエリアではないが、現在までに登った課題をここにまとめて紹介したい。なお、夏季の湿気が多い時期に苔落としをして登った課題が多く、グレード的には易しいものばかりである。今後暫くするとまた苔だらけになると思われるが、もし行く場合は、雨の多い夏は岩の状態が良くないので、期待しないで行ってほしい。また、夏季は陽射しが厳しいので、F岩(仮称:屋台岩)の北東側にある大木(桂?)の下が日陰で涼しく風も通るので、荷物置き場に良い反面、虫が多いので蚊取り線香や虫除けスプレーなどを必ず持参したい。

三峰ボルダーが近いということから、三峰が「川のエリア」と言うなら、ここは「山のエリア」ということができる。三峰周辺は脆い変成岩(堆積岩?)が多く、さらに、このエリアは川のエリアと違って水流に揉まれて磨かれていないため、脆い部分が多い。トライした岩は思い切って浮石を落としたが、していない岩はまだ浮石が多い。その点を考慮しながら、クラッシュパッドを利用し、スポッターを付けるなど、安全面で十分な配慮が必要である。

今回紹介したボルダー以外にも、メインエリアの上部や駐車スペース横の沢の上部などに興味あるボルダーが幾つかあるが、いずれも苔落としや下地の整備が必要である。

アクセスについては、巣場集落から巣場林道を少し入ると三峰ボルダーへ下るところに駐車スペースがあるが、さらに林道を進むと、林道がつづら折りになった先に聖岩が望める広い駐車スペースがある。作業用の車が奥に入るのを妨げないように駐車させてもらうが、この先に車止めがあり、一般の車は進入禁止である。

アプローチは簡単で、駐車スペースエリアは、直ぐ横の植林帯の中にあり、入口のA岩が見える。メインエリアへは、作業用の林道を登って行くと大きく右に曲がる場所にL岩(仮称:歓迎岩)があり、目の前にボルダーが沢山転がっている。5分とかからない至近距離なので、状態が悪ければ他の岩場への転進もしやすい。

駐車スペースの横の沢は、雨が少ない時期は水が枯れてしまっているが、D岩の上から沢に入れば水があるので、どうしても必要な時は確保できる。ゴミについては、ここも他の例に漏れず多量に捨てられていた。エリア周辺は大方拾ったが、アクセス途中の林道にはまだちらほらと見かけられる。



《駐車スペースエリア(パーキングロックエリア)》

●A岩・B岩・C岩

左から:A岩、B岩、C岩北面、C岩西面

A岩は駐車スペースの直ぐ横の岩で、正面のSD課題(課題名:ご無沙汰)が面白い。



一手目が取れば後は簡単。

B岩はA岩から少し登った所にある石碑のような岩で下の岩に課題(課題名:土台石)がある。両手でカンテ状のホールドで引きつけ、足を上げ、左上の三角形のホールドにデッドする。

C岩は、3m弱の高さがあるが、傾斜がなくほとんどが易しい課題である。易しいが脆い部分があるのでマットは必ず使用したい。

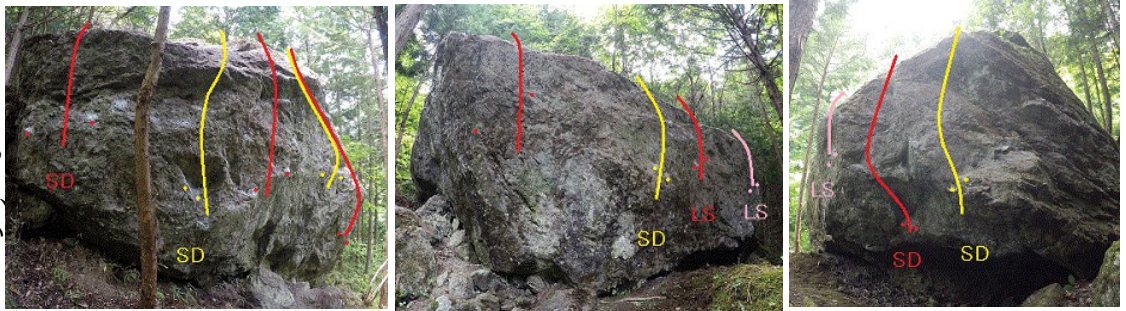
●D岩

左:東面

中央:北面

右:西面ハング

このボルダーは、大きい掃除をしてみたらラインは短く、さほど難しい課題もなく期待外れの



感があったが、ちょっと遊ぶにはいいかも。一部ランディングが悪いので注意が必要である。

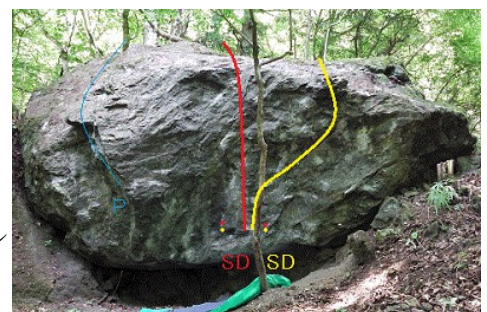
課題としては、東面の中央の黄色と赤ライン(課題名:水の音)、北面の黄色ライン(課題名:風の音)、西面ハングの赤ライン(課題名:雨の音)辺りが楽しめる。

●E岩(林道上の岩 仮称:甘辛岩)

岩前にモミジが、岩上には山椒の木が生えているのでこの名称。

脆くて浮石を落としたので、大分安定したが、ホールドの欠損には注意が必要である。

赤ライン(名称:山椒の播粉木)と黄色ライン(名称:メイプルシロップ)の両課題ともに、ジムナスティックで面白い。



左側の細青ラインの課題は簡単に登れると高を括っていたら、全く歯が立たず、未解決である。



《メインエリア(聖岩ロックガーデン)》

●F岩(仮称:屋台岩)

高さ3mから5mのハイボルダーでこのエリアの中心的存在。苔とともに上の灌木や泥を落としたので乾きが良くなったが、木の陰は苔が出やすいと思われる。

東面は、いつも日陰で暗い前傾気味のフェイス。後ろのG岩が近いので落ちた時にぶつからないよう注意が必要。黄色ライン(課題名:動く陽明門)は両手小カチホールドから右手を飛ばし極小ホールドを取ったら、足を上げ左で穴状の小カチを取る。ピンクライン(課題名:花火)は小カチで身体を上げていくと上にガバがある。両ラインのホールド共有はなく、ともに日陰でホールドが分かり難いので、G岩とステミングをしてホールドを確認した方が良い。



左:東&北面      中央:西面      右:南面



北面は、きれいな垂直のフェイス。どのラインもそれなりに面白い

赤ライン(課題名:祭囃子)は右手縦ホールドスタート。黄緑ライン(課題名:秩父銘仙)は左手はカチ、右手は丸いホールドスタートで上のガバを取る。青ライン(課題名:絹大市=キノノタカマチ)は、左手は下の持ちにくいピンチ、右手は縦ホールドでスタートし、左手のデッドとガストンで上の小ホールドを取る。左の黄緑ラインのガバには出ない。下に岩があるので、フォール時の安全のために、必ずパッドとスポッターを付けた方が良い。右の紫のカンテライン(課題名:風鈴)は左手は縦ホールド、右手はカンテを持ってスタートするが、ランディングが段差となっており危険なため必ずパッドを一段下にも敷いた方が良い。左のオレンジラインのカンテも後ろの岩に注意。

西面は、スラブ状のフェイスで易しいが、高さがあるのでクラッシュパッドとスポッターがあると安心。黄色(課題名:遅すぎた夏)と黄緑ライン(課題名:天気占い)辺りが面白い。黄緑ラインは両側の黄色と青ライン(課題名:光と影)のガバは使用しない。オレンジラインは細い樞の木 of 左側のフェイスで、ピンクラインは樞の木の右の浮石を落としたハングがライン。

南面はハングで、赤ライン(課題名:夜まつり)がお薦めだが、下が岩で危険なため、パッドとスポッターが必要。赤ラインのスタートホールドは顕著なガバから両手でスタートする。

●G岩      左:左側      右:右側

F岩の東側にある下がハングした岩。

SD課題などが面白いが、日陰で、上から雨水が垂れてくるので苔が付きやすい。

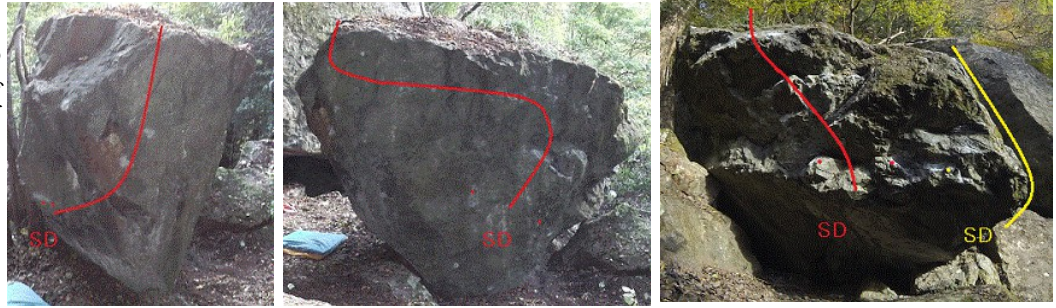




●H岩

左:東面 中央:北面 右:西面ハング

F岩の北側にある高さのない岩だが、乾きが良く、ハングやトラヴァースなど、限定していろいろと遊べる。



●I岩(仮称:笠鉾岩)

左:西面 右:南面

高さ7から8mのハイボルダーで下地もあまり良くない上に、脆い岩の特性もあり、上にアンカーを設置しトップロープの岩とした。アンカーは簡易アンカーなので、トライする場合は、横の木からバックアップを必ず取ってほしい。

西面は、直上ラインがトライ中にホールド欠損がありできそうだったムーヴができなくなってしまい封印。他のラインは易しいがまだまだ脆い部分がある。

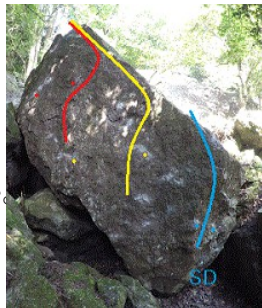


南面は、左側がトップロープのスラブ状のフェイス(左のカンテラインが課題名「秩父鉄道」、中央のラインが課題名「西武鉄道」)、右側がちょっとハング気味のボルダーとなっている。

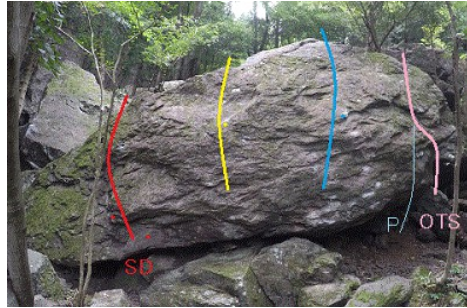
●J岩(仮称:船頭岩)&K岩(仮称:舟岩)

左:J岩 中央:K岩西面 右:K岩南面

J岩は、I岩の右にある小さな三角形の岩。フェイスは下地が悪いのでパッドとスポットがあると安心。

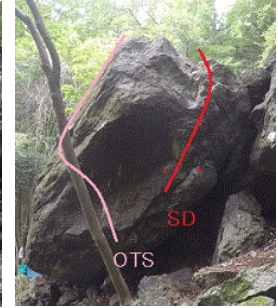


赤と黄色ライン(課題名:船玉まつり)はカンテのホールドを使用せず、直ぐ左の左上するホールドを使用するという限定あり。



カンテ末端の青ライン(課題名:ロウバイ)はムーヴがあり面白い。

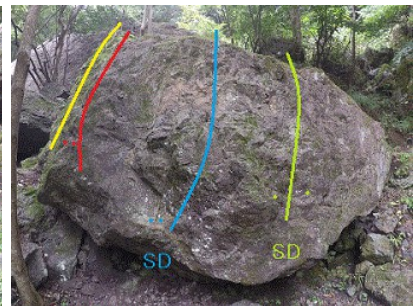
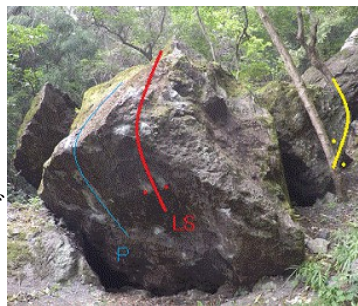
K岩は、高さ3m程の横長の岩。逆層気味なので傾斜はないが登り難いところもある。青ライン(課題名:ラインくんだり)は良いフットホールドがなく緊張する。南面はハングで、赤ラインは課題名「地質調査」。



●L岩(仮称:歓迎岩)&M岩(仮称:神輿岩)

左:L岩 右:M岩

L岩は、林道の曲がり角にあるハングした岩。林道工事で下の部分が埋まっ





てしまったらしく残念。

赤ライン(課題名:熊出没注意)はLSで登っているが、SDは未解決。左のガバからリップを取るラインもリップに手が届いた瞬間に滑って指を切り、トライ終了で未解決。

M岩は、エリア入口の右上にある岩で下地は平らで安定している。右側の方が少し脆いので注意が必要。中央の青ライン(課題名:川瀬祭)はスタートが核心で上はガバ。

### ●N岩(仮称:山の神)&O岩

N岩は、F岩の南側にある岩峰状の岩。ハングのSD課題(赤ライン 課題名:山の神)は左手はアンダー、右手はカンテのグリップでスタートする。両手がさらに下からのSDは未解決である。

O岩は、N岩の東斜面にある小さな岩。横に倒れ気味の樫の木がある

左:N岩 右:O岩



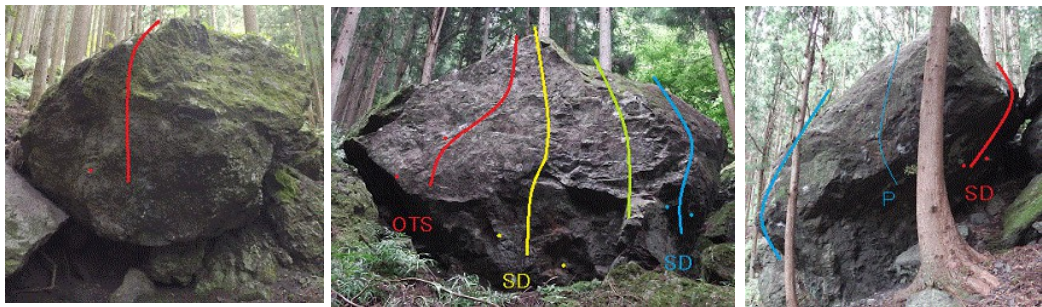
### ●P岩&Q岩

P岩は、I岩の北側にあるハングした小さな岩。ジャンプしてガバホールドを取る課題が1本ある。

Q岩は、I岩の北東にある3から

4m程の岩。西面は垂直のフェイス、南面はちょっと脆そうなハング。西面はホールドが多いが、外傾気味で意外と持てる部分は少なく、ラインは限定されてしまう。きれいに泥などが落ちれば登りやすくなると思われる。

左:P岩 中央:Q岩西面 右:Q岩南面



### ●R岩&S岩

R岩は、Q岩の上にある高さ2.5m程の横長の岩。下地は平で安定している。中央辺りは良い手掛かりがなく、まだ課題は設定されていない。

右側の青ライン(名称:骨董品)がムーヴもあり面白い。

S岩は、R岩の右奥にある小さな岩。被ったカンテのSD課題がある。

左:R岩左側 右:R岩右側とS岩



### ●T岩&U岩

T岩は、S岩の上にあるハングした岩で実質一手のSD課題がある。

U岩は、T岩の左奥にある岩で、浮石を剥がした痕のホールドをつなぐSD課題がある。

左:T岩 右:U岩

